

大津赤十字病院麻酔科専門研修プログラム 2025 年度版

本プログラムの特徴は、多様な手術に対応していることである。大津赤十字病院の外科系標榜科は、一般外科、小児外科、整形外科、呼吸器外科、心臓血管外科、形成外科、耳鼻科、頭頸部外科、泌尿器科、歯科、婦人科、眼科、脳外科。高度救命救急センターがあるので、外傷や熱傷の手術にも対応しているところが大学病院と異なる。

小児外科、形成外科、耳鼻科、NICU(周産期母子医療センター)があるため、小児症例が7%前後を占める。

高度救命救急センターがあるため、申し込みから24時間以内に行う緊急手術が5~7%を占め、外傷の緊急手術がある。地域の熱傷センターを兼ねているため、形成外科の熱傷手術もある。

当院はペインクリニック学会研修認定施設でもあるので、希望者はペインクリニック専門医からペインクリニック研修を受けることが出来る。緩和医療に係る神経ブロック(腹腔神経叢ブロック、クモ膜下フェノールブロック、クモ膜下ポート埋め込み)も行っている。2024年度から日本専門医機構認定集中治療科専門研修施設となり、研修者を受け入れている。

当院は、地域医療支援病院、がん診療拠点病院、周産期母子医療センター、高度救命救急センター、災害拠点病院として、地域医療を支えている。麻酔科として、災害救助訓練、赤十字救護班活動にも協力している。

本専門研修プログラムは、専攻医が整備指針に定められた麻酔科研修の到達目標を達成できる専攻医教育を提供し、地域の麻酔診療を維持すべく十分な知識・技術・態度を備えた麻酔科専門医を育成する。麻酔科専門研修プログラム全般に共通する研修内容の特徴などは別途資料麻酔科専攻医研修マニュアルに記されている。

1. 専門研修プログラムの運営方針

研修の最初2,3年間は、専門研修基幹施設で研修を行う。

地域医療の維持のため3,4年目のいずれかの段階で、市立大津市民病院、滋賀県立総合病院、公立豊岡病院組合立公立豊岡病院、三菱京都病院、医仁会武田総合病院、京都桂病院、京都市立病院で研修する。各病院間での打ち合わせにより時期と期間を決める。

集中治療研修のため、後半2年のいずれかの段階で、田附興風会北野病院、滋賀県立総合病院、公立豊岡病院組合立公立豊岡病院、京都大学病院で研修する場合がある。時期は病院間での打ち合わせ、プログラム参加者の希望を考慮する。

研修内容・進行状況に配慮して、プログラムに所属する全ての専攻医が経験目

標に必要な特殊麻酔症例数を達成できるように、ローテーションを構築する。麻酔症例検討は毎日それぞれ指導医と行い、定期的に麻酔科内で検討会を行う。病院全体の症例検討会が定期的に行われているので、参加できる。病院の医療倫理、医療安全、院内感染対策講習会に出席することが必要とされる。大津赤十字病院研修中は、週2回の抄読会で麻酔科領域の専門的な教科書を読み進め、基本的な知識を身につける。

日本麻酔科学会学術集会、支部学術集会をはじめとする、麻酔科関連学会に参加する。複数回の発表の機会が得られるように指導する。論文発表も指導する。プログラム全部の参加施設が集まる侵襲反応制御研究会が年2回開かれるので、そこで発表、症例検討を行う。

主要な麻酔科学の教科書は用意してある。麻酔科関係の主要雑誌である、Anesthesiology, British Journal of Anesthesia, Critical Care Medicine、麻酔また、一般的なNew England Journal of Medicine, Lancet, JAMAなどは電子的にアクセスできる。その他、院内から無料でアクセスできる電子ジャーナルリストは <http://www.jrc-lib.jp/library/otsu> で確認できる。Anesthesia and Analgesia、臨床麻酔、ペインクリニックを定期購読しているので、紙媒体で図書室にある。その他の雑誌も電子媒体または紙媒体で取り寄せる仕組みがある。専攻医は自己学習できる環境が整えられている。

研修実施計画例

年間ローテーション表の例

	1年目	2年目	3年目	4年目
A	大津赤十字病院	大津赤十字病院	大津赤十字病院、滋賀県立総合病院 (ペイン、集中治療)、京都大学病院 (集中治療)	田附興風会北野病院、市立大津市民病院、公立豊岡病院 (救急医療、集中治療、産科麻酔)、三菱京都病院(心臓麻酔)、医仁会武田総合病院、京都桂病院、京都市立病院
B	大津赤十字病院	大津赤十字病院	田附興風会北野病院、市立大津市民病院、公立豊岡病院	大津赤十字病院、滋賀県立総合病院

			(救急医療、集中治療、産科麻酔)、医 仁会武田総合病院、 京都桂病院、京都市 立病院	(ペイン、集中 治療)、三菱京都 病院 (心臓麻 酔)、京都大学病 院(集中治療)
--	--	--	---	---

週間予定表

大津赤十字病院の例

	月	火	水	木	金	土	日
午前	手術室	手術室	手術室	手術室	手術室	休み	休み
午後	手術室	手術室	手術室	手術室	手術室	休み	休み
待機			待機			待機	

当直は無いが、緊急手術に対する待機を週に1~2回(月に5, 6回前後)行う。
土曜日、日曜日、休日も待機がある。待機翌日は休みでは無いが、夜半過ぎま
で働いた場合、翌日勤務軽減をできる限り考慮している。

① 専門研修基幹施設

大津赤十字病院

研修プログラム統括責任者：

宇賀久敏(麻酔)

専門研修指導医： 宇賀久敏(麻酔)

篠村徹太郎(集中治療、麻酔、ペインクリニック)

吉川幸子(麻酔)

石井孝広(麻酔)

麻酔科専門医 芳川瑞紀 (麻酔)

岸本佳矢 (麻酔、ペインクリニック)

岩本 奈穂子 (麻酔)

藤井 庸祐 (麻酔、集中治療)

認定病院番号： 305

特徴： 年間 2400 例前後の麻酔管理症例のうち高度救命救急センター経由患者
が約 5%を占める。周産期母子医療センターに NICU があるため患者層は生後 1
日目から 100 歳超までと幅広い。外科、小児外科、呼吸器外科、心臓血管外科、
整形外科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、形成外科、泌尿器科、歯科口腔外科、脳外
科、産婦人科の手術がある。外傷の緊急手術もある。ペインクリニック学会指定

研修認定施設、がん診療連携拠点病院なので、緩和神経ブロックも学べる。硬膜外から末梢神経ブロックまで神経ブロック併用率が高い。2024年度から日本専門医機構集中治療科専門研修施設に認定された。麻酔だけでなく、希望者はペインクリニック科、集中治療科の専門医取得が可能。バランスの取れた麻酔科医を育成する。

麻酔科管理症例数					
麻酔科管理 全症例数	小児 (6歳未満)	帝王切開術	心臓血管手術	胸部外科手術	脳神経外科
2431	115	59	59	150	44

専門研修連携施設A

② 1. 公益財団法人 田附興風会医学研究所 北野病院

研修プログラム統括責任者：加藤 茂久

専門研修指導医：加藤 茂久（麻酔）

足立 健彦（麻酔、集中治療）

宮崎 嘉也（集中治療）

黒崎 明子（麻酔）

原 朋子（麻酔）

前川 俊（心臓血管麻酔、集中治療）

柚木 圭子（麻酔）

直井 紀子（麻酔）

村田 裕（麻酔）

専門医：中辻 史織（麻酔）

辻 和也（麻酔）

認定病院番号 65

特徴：地域医療支援病院。大阪市北区で中心的な役割を果たす病院である。麻酔科管理で年間約3900件の非常に多彩な手術を行っており、心臓血管外科、小児外科を含むほぼ全ての領域の手術麻酔を11名の専門医の下で余裕を持って研修することができる。2023年に手術室が4室増え、西日本トップクラスの床面積を誇るハイブリッド手術室、心臓外科専用手術室、ならびに眼科/局麻専用手術室2室が稼働した。

また専攻医の学会発表や院外研修を科として積極的にサポートしており機会は豊富である。麻酔科が主体となって集中治療部（ICU）を運営しており、日本集中治療医学会専門医研修認定施設、心臓血管麻酔専門医認定施設でもあるので、十分な集中治療研修、心臓血管麻酔研修を行うことができる。

専門研修指導医の 所属人数（人）	本プログラム 専門医研修指導医 按分後の人数（人）
9	0.1

麻酔科管理症例数					
麻酔科管理 全症例数	小児 (6歳未満)	帝王切開術	心臓血管手術	胸部外科手術	脳神経外科
3890	231	223	78	190	225

③ 京都大学医学部附属病院

研修実施責任者：江木 盛時

専門研修指導医：江木 盛時（麻酔，集中治療）
 溝田 敏幸（麻酔，集中治療）
 甲斐 慎一（麻酔，集中治療）
 川本 修司（麻酔，ペインクリニック）
 瀬尾 英哉（麻酔，集中治療）
 加藤 果林（麻酔）
 木村 聡（麻酔，集中治療）
 辰巳 健一郎（麻酔，集中治療）
 松川 志乃（麻酔，心臓血管麻酔）
 橋本 一哉（麻酔，集中治療）
 武田 親宗（麻酔，集中治療）
 廣津 聡子（麻酔，集中治療）
 池浦 麻紀子（麻酔）
 宮尾 真理子（麻酔）

専門医 : 白木 敦子 (麻酔)
 山田 瑠美子 (麻酔, 心臓血管麻酔)
 楠戸 絵梨子 (麻酔)
 三好 健太郎 (麻酔)
 小堀 鮎美 (麻酔)
 山本 菜都美 (麻酔)
 小原 淳平 (麻酔)
 南迫 一請 (麻酔, 集中治療)
 生野 智美 (麻酔)
 宇田 周司 (麻酔)
 島田 覚生 (麻酔)
 水野 彰人 (麻酔)
 吉田 裕治 (麻酔)

認定病院番号 : 4

特徴 : すべての外科系診療科がそろい、数多くの症例の麻酔管理を経験することができる。肝移植、肺移植、人工心臓植込み手術、経カテーテル大動脈弁留置術、覚醒下開頭術などは他院では経験することが難しい手術であり、経験豊かな指導員のもとでこれらの特殊な手術の麻酔管理を修得することができる。集中治療部研修では、重症患者の全身管理を身につけることができる。

専門研修指導員の 所属人数 (人)	本プログラム 専門医研修指導員 按分後の人数 (人)	麻酔科管理全症例数
14	0.1	6248

④三菱京都病院

研修実施責任者 : 大東 豊彦
 専門研修指導医 : 大東 豊彦 (麻酔)
 笠井 俊宏 (麻酔)
 認定病院番号 : 572

特徴: 弊院は三菱自動車工業株式会社が支援する病床数188の所謂企業立病院です。麻酔科専門医取得に必要な心臓外科症例（Ⅰ群とⅡ群）を年間約100～160件（TAVIを含む）ならびにほぼ年間100件の帝王切開を麻酔管理しております。また、循環器疾患を有する非心臓手術症例の麻酔管理も多いです。その他には消化器外科、歯科、乳腺外科、呼吸器外科、整形外科があります。規模が小さいので、きめ細やかな指導が出来るかと自負しております。病院全体としては風通しは良好で、外科系は言うの及ばず各科の垣根は比較的強く、連携は円滑です。

専門研修指導医の 所属人数（人）	本プログラム 専門医研修指導医 按分後の人数（人）
2	0.1

麻酔科管理症例数					
麻酔科管理 全症例数	小児 (6歳未満)	帝王切開術	心臓血管手術	胸部外科手術	脳神経外科
1412	1	96	168	43	0

⑤ 医仁会武田総合病院

研修実施責任者：瀬川 一

専門研修指導医：瀬川 一（麻酔、集中治療）

矢澤 智子（麻酔）

羽原 利枝（麻酔）

中村 久美（麻酔）

認定病院番号：648

特徴：地域密着型の急性期総合病院である。ほぼすべての外科系診療科を有しているため、各科の予定および緊急手術の麻酔及び集中治療室における患者管理を学ぶことが出来る。

⑥ 地方独立行政法人 市立大津市民病院

研修プログラム統括責任者：橋口 光子

専門研修指導医：橋口 光子（麻醉）

神原 恵（麻醉）

森 由美子（麻醉）

永井 裕子（麻醉）

片岡 麻子（麻醉）

中西 昌恵（麻醉）

饗場 千夏（麻醉）

認定病院番号：287

特徴：大津医療圏の中核施設。外科系各科が揃っており、緊急手術も多い。集中治療のローテート可能。地域医療支援病院・災害拠点病院。

専門研修指導医の所属人数（人）	貴プログラム専門医研修指導医按分数（人）
7	0.1

麻醉科管理症例数					
麻醉科管理全症例数	小児（6歳未満）	帝王切開術	心臓血管手術	胸部外科手術	脳神経外科
1446	3	0	31	63	23

⑦ 滋賀県立総合病院麻醉科

（2024年4月）

研修プログラム統括責任者: 疋田訓子

専門研修指導医:

疋田訓子 (麻酔)

森 浩子 (麻酔)

田辺寛子 (麻酔)

安原玄人 (麻酔)

認定病院番号: 347

特徴: 滋賀県における都道府県がん診療連携拠点病院であるため、外科系ほぼ全ての診療科が揃う。幅広い症例や心臓血管外科をはじめとするさまざまな緊急手術を担当するとともに全身麻酔だけでなく脊髄くも膜下麻酔や硬膜外麻酔、神経ブロックなどを学ぶことができる。集中治療部やペインクリニック、緩和ケアなどサブスペシャリティ部門も経験できるとともに、小児保健センターとの合併後は小児症例も充実する。

専門研修指導医の所属人数(人): 4

指導医按分: 0.1

2023 年度麻酔科管理全症例数: 3122 件

必要症例数: 小児 6、帝王切開 0、心臓 60 (I:49、II:11)、胸部外科 186、脳神経外科 23

⑧京都市立病院

研修実施責任者: 角山 正博

専門研修指導医: 角山 正博 (麻酔、ペインクリニック)

白神 豪太郎 (麻酔、集中治療)

佐藤 雅美 (麻酔)

大西 佳子 (緩和ケア、ペインクリニック)

下新原 直子 (集中治療)

森島 史織 (麻酔)

野口 英梨子 (麻酔)

石井 真紀 (麻酔)

篠原 洋美 (麻酔)

藤田 靖子 (麻酔)

専門医: 深見 紀彦 (麻酔)

成田 葉月 (麻酔)

南野 園子 (麻酔)

青山 典子 (麻酔)

認定病院番号： 127

特徴：主要な外科系診療科がそろっており、バランスよく多彩な症例の麻酔研修を行うことができる。集中治療、緩和ケアの研修も可能である。

専門研修指導医の 所属人数（人）	本プログラム 専門医研修指導医 按分後の人数（人）
10	0.1

麻酔科管理症例数					
麻酔科管理 全症例数	小児 (6歳未満)	帝王切開術	心臓血管手術	胸部外科手術	脳神経外科
3325	81	69	0	183	48

⑨公立豊岡病院組合立豊岡病院

研修実施責任者：正田 丈裕

専門研修指導医：正田 丈裕（麻酔）

蔭山 成（麻酔）

田井 綾乃（麻酔）

西垣 春菜（麻酔）

認定病院番号： 434

特徴：ドクターヘリで救急患者を搬送して24時間体制で受け入れ、但馬地域唯一の総合病院として、京都府北部から鳥取県の一部まで含めた医療圏をカバーしている。外科系各科も充実しており、乳幼児から超高齢者まで幅広い年齢層の患者の麻酔管理を経験できる。救命救急センターや周産期医療センターも併設しているため、緊急手術症例の麻酔を数多く経験できる。

専門研修連携施設B

⑩京都桂病院麻酔科 2024年4月時点

研修実施責任者: 小山 智弘

専門研修指導医:

小山 智弘(麻酔、心臓血管麻酔)

上田 裕介(麻酔、心臓血管麻酔)

田尻 美穂(麻酔、心臓血管麻酔)

専門医:

住谷 絵未里(麻酔、心臓血管麻酔)

認定病院番号: 975

特徴: 京都市西部、乙訓地域、京都中部地域の約 70 万人の人口圏にある基幹病院であり、その地域で最大の病床数を有している。外科系のほとんど全ての診療科が揃うため様々な手術の麻酔を経験し、日々の研修で麻酔専門医に必要な知識と技術を身につけることができる。消化器外科、泌尿器科、産婦人科、呼吸器外科においてロボット支援手術が行われている。スタッフのうち 1 名が心臓血管麻酔領域の専門医、複数名が JB-POT 認定歴を持ち、心臓血管麻酔はマンツーマン指導体制のもとトレーニングすることができる。

専門研修指導医の所属人数(人): 3人

貴院プログラムへの按分専門医研修指導医数(人): 0.1 人

2023 年度の麻酔科管理全症例数: 2097 件

2023 年度の必要症例数: 小児 11、帝王切開 7、心臓 119 (I:68、II:51)、胸部外科 239、脳神経外科 53

2. 募集定員

3名

(* 募集定員は、4年間の経験必要症例数が賄える人数とする。複数のプログラムに入っている施設は、各々のプログラムに症例数を重複計上しない)

3. 専攻医の採用と問い合わせ先

① 採用方法

専攻医に応募する者は、日本専門医機構に定められた方法により、期限までに志望の研修プログラムに応募する。

② 問い合わせ先

本研修プログラムへの問い合わせは、電話、e-mail、郵送のいずれの方法でも可能である。

大津赤十字病院 人事課

滋賀県大津市長等1-1-35

TEL 077-522-4131

E-mail: senmoni@otsu.jrc.or.jp

Website <https://www.otsu.jrc.or.jp>